

# 協会だより

令和7年5月25日(日)秩父ミュージックパークにおいて第75回全国植樹祭が開催されました



【天皇陛下お手植え】

写真提供：第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会

【令和7年度 全国統一防火標語】

**「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」**

【令和7年度 危険物安全週間推進標語】

**「危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る」**

# 年 頭 挨 拶



秩父防火安全協会 会長 宮 前 隆 一

会員の皆様におかれましては、当協会の運営に対し、日頃より格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、近年では、全国各地で林野火災が相次いで発生し、豊かな自然環境や地域生活に深刻な影響を及ぼしております。秩父地域は広大な森林を有する一方、事業所や住宅地が自然と隣接している地域特性から、林野火災が事業活動や市民生活に直結する重大なリスクとなっております。また、事業所における火災につきましても、設備や作業工程の多様化などにより、リスクが増加している状況にあります。そして、ひとたび火災が発生すれば、従業員の安全はもとより、地域全体に大きな影響を与えることとなります。

林野火災、事業所火災のいずれにおいても、その多くは人為的要因が関係しているとされており、日常の火気管理や点検、そして防火意識の徹底が何より重要であると思っております。そこで、当協会といたしましても、関係機関と連携しながら、林野火災防止の啓発と、事業所における防火管理体制の強化の両面から、防火安全対策の推進に努めてまいります。

今後とも、会員の皆様一人ひとりが防火の担い手であるとの自覚を持ち、地域と事業所が一体となった火災予防の取り組みを進めることで、安心・安全な秩父の実現に寄与してまいりたいと考えております。

結びに、会員事業所の益々のご発展と、皆様方のご健勝ならびに当協会活動への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます、会長挨拶といたします。



秩父防火安全協会 顧問  
秩父消防本部 消防長 加 藤 好 一

新年あけましておめでとうございます。

秩父防火安全協会の皆様におかれましては、希望に満ちた令和8年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より地域防火・防災の推進に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で自然災害が相次ぎ、私たち消防に課せられた使命の重さを改めて認識する一年となりました。とりわけ、岩手県大船渡市で発生した林野火災においては、広範囲にわたる延焼により、住民生活や自然環境に大きな影響を及ぼしました。厳しい気象条件の中、関係機関が連携し、昼夜を問わず懸命な消火防御活動にあたった姿は、消防の原点である「地域を守る」という強い使命感を改めて私たちに示すものでありました。

この災害からは、林野火災の初動対応の重要性、広域的な応援体制の必要性、そして平時からの訓練や情報共有の大切さなど、多くの教訓を得ることができました。私たちはこれらの教訓を決して風化させることなく、今後の消防行政や現場活動に確実に生かしていかなければなりません。

本年も、複雑多様化する災害に的確に対応できるよう、職員一人ひとりの技術と知識の向上に努めるとともに、関係機関や地域の皆様と連携をより一層強化し、「安全、安心なまちづくり」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びに、新しい年が秩父防火安全協会の皆様にとりまして健康で実り多き一年となりますこと、そして災害のない穏やかな一年となりますことを心より祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

# 令和7年度 評議員会・定例総会

令和7年7月1日(火)、ちちぶ広域消防防災拠点施設研修室において評議員会、その後秩父消防本部講堂において定例総会が開催されました。

評議員会では、会則第9条に基づき常任理事、各理事及び監事の選任について審議され、それぞれ下記のとおり選任が承認されました。

協会役職名	事業所名	職名	氏名
常任理事	秩父消防署	消防署長	黒沢 武徳
理事	(株)ノナック デバイスソリューション事業部 秩父事業所	事業所長	兒玉 淳治
理事	埼玉消防機械(株)	代表取締役	榎戸 和男
理事	埼玉機器(株)秩父製造所	代表取締役社長	山本 憲男
理事	秩父石灰工業(株)	専務取締役	小澤 正弘
監事	(株)高橋組	代表取締役社長	高橋 崇剛

定例総会では5議案が審議され、すべて原案のとおり承認可決されました。また、視察研修等の事業についての紹介や、協会からの各種通知をメールで行うメール会員が年々増加、通信費削減に貢献していただいておりますこと等も併せて報告いたしました。



## 正副会長の紹介 ※改選はありませんでした。

- 会長 宮前 隆一 (秩父ガス(株))
- 副会長 皆川 倫治 (株)オプナス
- 副会長 山口 能弘 (株)山口組
- 副会長 関口 正明 (有)関口商店



山口副会長 皆川副会長 宮前会長 関口副会長

## 表彰受賞者 (順不同)

定例総会の場におきまして、当協会に係る各種表彰の伝達式が執り行われました。

### ◆ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰

秩父防火安全協会 副会長 (株)オプナス 皆川 倫治様



皆川 倫治様

### ◆ (公社)埼玉県危険物安全協会連合会表彰

#### ● 優良危険物事業所

- 秩父通運プロパン販売(株)様
- 三菱石油(株)様
- (株)山崎工務店様

#### ● 優良危険物取扱者

- 齋藤 高之様 (有)齋藤運輸)
- 柴崎 竜太様 (秩父電子(株))
- 染野 文男様 (岩崎電気(株) 秩父工場)

#### ● 優良普及啓発活動

- 秩父プラスチック工業(株)様
- 両神林産加工(株)様

### ◆ 秩父防火安全協会表彰

#### ● 優良防火管理者表彰

- 堀口 優子様 (有)勉強屋)



秩父通運プロパン販売(株)様



三菱石油(株)様



(株)山崎工務店様



齋藤 高之様



柴崎 竜太様



染野 文男様



秩父プラスチック工業(株)様



両神林産加工(株)様



堀口 優子様

受賞者の皆様、大変おめでとうございます。

# 令和7年度 視察研修

## 本田技研工業株式会社 埼玉製作所 完成車工場・富岡製糸場

令和7年9月12日(金) 爽秋の折、秩父防火安全協会視察研修を実施しました。

今回は16名が参加し、【本田技研工業株式会社 埼玉製作所 完成車工場】【富岡製糸場】を視察しました。本田技研工業株式会社 埼玉製作所 完成車工場では、広大な敷地内を本田技研工業様のバスで移動し、車のパーツが組み立てられ、完成されていく工程を見学しました。人と機械が連携し、無駄なく車を作り上げる一連の流れは驚嘆するものでした。昼食を挟み、2つ目の視察場所である群馬県の富岡製糸場へ行きました。現地ガイドの方の大変熱心な説明を受け、製糸場の歴史や製糸工程等にとどまらず、近現代日本史のイロハについてもご教授いただきました。

今年度の視察研修におきましても、知識を深め、事務局、会員相互の交流を深められた1日となりました。



### 視察研修に参加して

株式会社 栗原瓦店 栗原 恒明



6年ぶりに秩父防火安全協会の視察研修に参加させていただきました。前回、令和元年度の研修に参加した時は、株式会社ウッディーコイケの小池文喜さんが会長で、警視庁に行った記憶があります。

本田技研工業さんに興味があって、久しぶりに視察研修に申し込みしました。本田技研工業さんでは、ロボットがロボットを製作しており、映画のターミネーターのような印象を受けました。車のライトはLEDとなっており、時代を感じました。

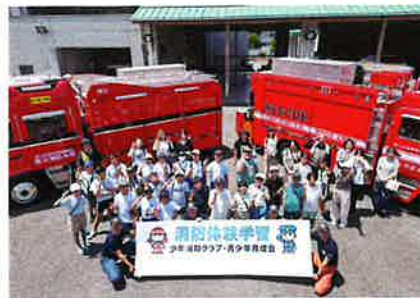
富岡製糸場は、本田技研工業さんとは真逆な雰囲気、懐かしさを感じました。私は瓦屋ですので、富岡製糸場の建物を見て、秩父の矢尾百貨店さんの裏に酒蔵がかつてありまして、その酒蔵の屋根の修理をしたことを思い出しました。

瓦は防火材です。秩父防火安全協会の一員として、秩父地域の防火に役立つよう今後も仕事に励んでいきたいと思っております。今回の視察研修を通して、改めて自身の仕事と防火に関連があることを認識できました。ありがとうございました。

## 令和7年度の事業紹介

### 消防体験学習を実施しました

夏休み期間中の令和7年7月29日(火)、秩父消防本部管内にある少年消防クラブ員及び育成会員の小学6年生を対象に、指導者を含めて41人が消防体験学習に参加しました。消防体験学習は昭和62年に「一日消防士」として開始し、現在は、「消防体験学習」と名称変更して実施しています。今回で39回を迎えました。学習内容は、放水体験、消火器取扱い訓練、ロープを使用した訓練、おもちゃ花火教室です。当協会は、この事業へ助成を行っています。当協会の60周年記念で記念品として贈呈した楽々消防隊(本物の炎を使用した消火訓練機器)も活躍しました。青空の下、小学生最後の夏休みの思い出になったと思います。



### 第3ブロック地区防火安全協会会長・事務局長会議を開催

令和7年8月21日(木)、埼玉県内第3ブロック地区の熊谷市、行田市、深谷寄居、児玉郡市、秩父の各防火安全協会の会長及び事務局長が秩父に集結し、当協会からは、会長、副会長及び事務局員が出席いたしました。本会議は幹事協会が持ち回りとなり毎年開催されているものです。当協会会員の(株)荷車屋様を会場とし、各協会から事前に取り上げられた議題について意見交換を行いました。互いの取り組み事項や疑問点等を確認し合い、非常に有意義な会議となりました。



会議の前には武甲山採掘現場視察を、当協会会員の菱光石灰工業(株)様、武甲鉱業(株)様、秩父太平洋セメント(株)様に多大なるご協力いただき行いました。菱光石灰工業(株)宇根鉱山事務所において、鉱山概況説明をいただいた後、採掘現場へ向かいました。武甲山からの秩父盆地の素晴らしい景色もさることながら、採掘現場で活躍する重機のスケールの大きさや広大な敷地に感嘆しました。採掘現場に立ち入ることは大変貴重な機会であり、秩父のシンボル・誇りでもある武甲山を、各地区協会の皆様に直にご覧いただけたことを喜ばしく思いました。



その後の意見交換会では、会議の延長で各協会の現状や今後の展望、課題等を各個で話し合い、貴重な機会となりました。他協会の会長・事務局長の皆様から本会議等の充実ぶりについてお褒めの言葉を頂戴し、無事終了となりました。会議で得た意見や他協会との繋がりを、今後の協会運営に活かしていきます。



### 甲種防火管理再講習会を開催

令和7年12月12日(金)、秩父消防本部4階講堂において、甲種防火管理再講習会を開催しました。

この講習は、飲食店、物品販売店舗など不特定多数の人が出入りする建物で、消防法で定める収容人員300人以上の事業所の防火管理者が5年以内ごとに受講する講習会です。13名の方に熱心に受講していただきました。

甲種防火管理新規講習会につきましては、昨年度より一般財団法人日本防火・防災協会に委託して開催しております。来年度も9月に秩父宮記念市民会館けやきフォーラムにて開催予定ですので、防火管理者の資格取得を希望される方は受講をお願いいたします。



# 秩父神社御行幸



天皇陛下が、令和7年5月24日から25日にかけて埼玉県に御行幸され、その折に秩父神社にお立ち寄りになりました。



秩父神社参集殿において『小鹿野子ども歌舞伎』をご覧になられたのち、平成殿前広場において二基の傘鉾と四基の屋台をご覧になりました。

## 秩父神社宮司コメント

このたび、全国植樹祭が秩父の地において厳かに執り行われ、併せて天皇陛下におかせられましたは、御行幸の折に秩父神社へお成りあそばされましたこと、誠に光栄に存じ、氏子並びに地域の皆様とともに、心より厚く御礼申し上げます。

秩父は古来より、山々と森に囲まれ、人々の暮らしが自然と深く結びついてきた土地であります。その秩父において、「緑を守り、育て、次代へつなぐ」という全国植樹祭の理念が示され、天皇陛下に御臨席賜りましたことは、私どもにとりまして大きな励みであり、深い感慨を覚えるものでございます。

また、秩父神社は、長きにわたりこの地の自然と人々の心をお守りする鎮守としてお祀りされるとともに、多くの社殿や文化財を擁する社として、その保全に努めてまいりました。近年は、火災をはじめとする各種災害への備えの重要性が一層高まっており、当社といたしましても、社殿の防火・防災体制の充実を図り、貴重な歴史と文化を次代へ確実に継承していくことを重要な使命と考えております。さらに、神社のみならず、地域全体の安全・安心に寄与することも、鎮守としての大切な役割であります。

このたびの御行幸を大きな契機として、秩父の豊かな森林と自然環境を守り伝えるとともに、神社を火災からお守りし、さらに、秩父防火安全協会の一員として、関係機関や地域の皆様と連携を図りつつ、地域の防火・防災に寄与する取り組みを今後一層推進し、災害に強いまちづくりに微力ながら貢献してまいりたい所存でございます。



写真提供：秩父神社（※ 写真の掲載にあたり、宮内庁に確認しております）

## 秩父防火安全協会 会員様のご紹介

### 株式会社 高橋組

当社は、1895年（明治28年）に宮大工として創業以来、130年以上の長きにわたり秩父地域に根ざした総合建設業を営んでいます。お客様に満足いただける建物を届けたいという想いを胸に、『仕事は仕事で生み出すもの』（Excellent Works Create More Work）を経営理念として掲げ、秩父市役所や歴史文化伝承館など、公共施設から民間施設まで多岐にわたる建物の建設を手掛けてきました。これまでの豊富な経験と技術を活かして、建物を50年以上使用することを当たり前と考え、品質と安全を第一で施工に取り組み、お客様のさまざまな要望に応えて参ります。また、地域リーディングカンパニーとして、経営革新と社会貢献を通じて、社員とその家族が誇りを持てる企業を目指しています。



### 株式会社 上武

私たち上武は、地球のめぐみである砕石資源や建設廃棄物などを大切に使い、土木・建築資材・マテリアルリサイクル製品の製造販売を行い、地球環境保全と循環型社会の実現に向け取り組んでいます。

事業活動の中で、資源の有効活用を責務として、未利用資源の研究開発などにも力を入れ、社会の発展を支える企業、また地域の方との共存共栄を目指して環境、安全、衛生、防災活動にも力を入れて参ります。



### アパホテル〈埼玉秩父駅前〉

長年にわたりご愛顧いただいております第一ホテル秩父をリブランドし、2025年10月31日よりアパホテル〈埼玉秩父駅前〉として開業いたしました。企業理念である「Best for the Guest - お客様に最高のおもてなし」を通じて、お客様一人ひとりに寄り添ったサービスを提供し、誇りをもって「また泊まりたい」と感じていただけるホテルを目指しております。

新都市型ホテルコンセプトのもと、地球環境への配慮はもちろん、防災設備の点検や訓練はホテル事業者の義務であることを全ての従業員へ教育を行い、安心してご利用いただける様、努めて参ります。



# 林野火災警報の運用を開始しました！

秩父消防本部では、林野火災の予防を目的とした「林野火災警報」の運用を令和8年2月1日より開始しました。林野火災警報が発令された際には、火の使用が制限されます。

## ◆ 林野火災警報とは？

令和7年2月に発生した岩手県大船渡市の大規模林野火災を受け、国により検討された結果、林野火災予防の実効性を高めるため、林野火災多発期（1月から5月）に一定の気象条件に達した場合、「林野火災警報」を発令し、発令中の「屋外における裸火で火の粉が飛散する行為」を制限することとしました。

## ◆ 一定の気象条件とは？（発令指標）

### 発令基準

気象庁が強風注意報を発表し、かつ、以下指標のいずれかを満たす場合に発令します。

1. 前日までの3日間の合計降水量が1mm以下、かつ、前30日間の合計降水量が30mm以下
2. 前日までの3日間の合計降水量が1mm以下、かつ、気象庁が乾燥注意報を発表

※ 発令条件に加え、当日に見込まれる降水状況等を考慮し、発令の判断を行います。

### 解除基準

発令指標に該当しなくなった場合に解除します。



## ◆ 制限される行為とは？

1. 山林、原野等において火入れをしないこと。
2. 屋外において、花火（がん具用を含む。）を行わないこと。
3. 屋外において、火遊び又はたき火をしないこと。
4. 屋外において、爆発しやすい物や落ち葉などの燃えやすい物の近くで喫煙をしないこと。
5. 屋外において、たばこの吸がらや取灰を捨てる際は、火が確実に消えていることを確認し、処理すること。



## 屋外において裸火を使用し、火の粉が飛散する行為が対象です！



## 七輪・炭火・コンロは 対象外



注1) 伝統行事や神事であっても、制限の対象となります！

注2) 火の粉が飛散しない形態の七輪・バーベキューコンロ・ガス器具は、規制の対象外となります。

## 当協会の取り組み

協会予算で購入したポケットティッシュを、林野火災防止に絵柄を変更し、消防署へ提供！

消防職員により、早朝の駅前や登山口においてハイカーの方々へ山火事防止の注意を呼び掛けながら配布していただきました。



## 編集後記

会員の皆様のご協力により、『協会だより』第176号を発行する運びとなりました。会員の皆様から寄せられる現場の声や事例は、地域全体の防火力向上にとって大変貴重なものです。今後も本会報誌を通じて、有益な防火防災情報や取り組みをお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務局一同